

## あとがき

『ちかまつうるる読本 ザ・近松』第三卷「近松を旅する」を発売いたします。最終巻のこの本は、近松の生誕から作者としての生涯を閉じるまでに近松が実際にたどったであろうゆかりの地や、作品の舞台となった土地についての、散策ガイドブックです。

作品を味わうとき、実際にその地を訪れると、臨場感にあふれ、登場人物の心情に迫ることができません。近松も、大坂や京都で事件があると、その現場まで足を運んで作品の構想を練ったと言われています。また、作品を読んでもその土地を訪れてみたくなることもあるでしょう。そんなとき、この本が皆さんのお役に立てれば幸いです。

最後に、この本の制作・編集にあたり、お世話になりました諸先生方にお礼を申し上げます。近松研究の第一線でご活躍の信多純一先生には「私の近松の旅」を執筆していただき、巻頭を飾っていただきました。園田学園女子大学近松研究所の先生方には、本シリーズを通して並々ならぬご協力をいただきました。水田かや乃・井上勝志両先生には終始、懇切なご指導をいただき、「近松の旅」についても執筆していただきました。また、福井大学教授三好修一郎先生には、さばえ近松倶楽部顧問として、献身的なご支援をいただいております。今後より一層のご指導をお願い申し上げます。

さばえ近松倶楽部  
ちかまけん

平成十五年三月